

令和7年4月 財産区だより 第52号

東春近財産区の運営につきまして、地区の皆様には深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和6年度も財産区管理費として一戸当たり2,500円を拠出していただき、野田山アヤメ園の整備、林道藤沢線の草刈り等を実施することができました。

一方、林業を取り巻く経済情勢は相変わらず厳しい状況が続いている中で、伐期を迎えている財産区有林もあることや自然災害の発生も心配されることから、第18期の運営方針を「財産及び環境を守る」と定めたところです。

この運営方針に沿って地区のみなさまの大切な財産を守り、良好な森林環境を維持していくため、引き続き必要な事業を行っていく所存です。

今後とも皆様方の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和7年4月

東春近財産区 議長 福澤 覚 志
議員 一 同



1 事業の状況

財産区有林は、これまでの各区のご尽力によって整備が行き届いており、上伊那森林組合へ大きな森林整備事業の委託等はありませんでしたが、運営方針に定めた「道堰区有林」の主伐に向け、現地調査及び今後の施業スケジュールを検討したところです。

また、ドローン活用などスマート林業における技術導入により、森林資源量の把握や長期的な経営計画の策定、維持管理業務の省力化に向け、地域のベンチャー企業との打合せを重ね、令和7年度予算に事業費を計上しています。

2 野田山アヤメ園整備作業について

令和6年度も各区のご協力をいただき、6月9日に区役員等23名と財産区議員9名により笹の刈取りや外来植物の抜き取りなどの作業を行いました。また、秋には財産区議員により草刈りを実施しました。（市の協働のまちづくり交付金を活用しています。）

野田山アヤメ園については、湿地環境に特有な種や絶滅の危急性の高い種も認められるなど、地域にとって極めて貴重な自然であることが確認されていますので、引き続き維持管理に努め、後世に引き継いでまいります。



外来植物の抜き取り作業

下刈り作業



伐倒作業

3 境界確認

財産区所有の440ha余の山林の境界について、全議員により年2回、4年間で全区域を踏査、確認しており、令和6年度は、5月19日に施業の下見を兼ねて道堰区有林を、10月20日には小黒日影区有林の板沢北方面の確認を行いました。

議員の高齢化や危険の回避に向け、ドローンによる境界確認の方法を検討しています。

4 東春近小学校PTA林（^{どうせぎ}道堰）作業について

東春近小学校の児童の愛林精神の涵養と自然体験学習のため、道堰区有林を無償で貸与しており、これまで児童及び保護者により枝打ち、間伐、下草刈等の作業が行われ、材木から得られる収入は学校施設や教材の充実に使われてきました。



ノコギリ体験

道堰のPTA林は、伐採時期を迎えており、下草刈りや枝打ち、間伐等の作業の必要がなくなってきました。

このため、作業体験に代えてPTA林を活用した学習ができないか検討した結果、令和6年度はPTA林の歴史を学んだ後、実際にPTA林から切り出した木をノコギリで切るなどの体験も含めたコースター作りを行いました。

5 林道関係について

(1) 林道工事について

令和6度の林道猪山線改良工事では、引き続き水切り箇所の補修、砂利敷きによる保守、舗装工事などが行われ、中殿島区へ工事負担金を支出しました。

(2) 林道の草刈りについて

西春近と東春近の財産区議員による夏の林道草刈り作業を、林道犬田切線と藤沢線について交互に実施しており、令和6年度、東春近財産区の当番は藤沢線でした。

本年度は梅雨前線等による豪雨で幾度も土砂の流出があり、6月の予定が実施できず7月14日に作業を行いました。路面が掘削された影響で上流部を残しての実施となりました。

(3) 東西春近林道管理委員会について

西春近財産区と東春近財産区では、西山に財産区有林が混在し林道を共有しているため、林道補修の負担割合等の確認と研修、情報交換を目的に、東西春近林道委員会を開催しています。

令和6年度は西春近財産区の当番で、長谷地域の鹿嶺高原において実施されている「長野県森林（もり）の里親森林整備基本協定」に基づく企業からの寄附による森林整備を視察し、その後、伊那市の事業計画等について情報交換を行いました。



鹿嶺高原での研修

6 令和5年度決算の状況

令和5年度決算は、歳入総額は17,077,425円で前年より約60万円の増。また、歳出総額は2,154,760円で前年と比べ約116万円の減となりました。

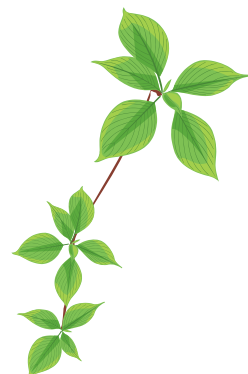
歳入増の主な要因は前年度繰越金の増で、歳出減の主な要因はP T A林収益金の東春近小P T Aへの支出が無かったものです。

令和5年度 決算の状況

歳 入

(単位 円)

科 目	金 額	説 明
財産区管理費	3,767,500	1,507戸×2,500円
財産収入	34,101	貸付収入
繰越金	13,096,672	前年度(R4)繰越金
諸収入	179,152	利子、協働のまちづくり交付金等
合 計	17,077,425	



歳 出

(単位 円)

科 目	金 額	説 明
議会費	1,643,300	議員報酬、旅費等
総務管理費	149,054	消耗品、印刷費等
	362,406	各区徴収報償金、山作業消耗品、 下刈事業等報酬等
合 計	2,154,760	

差引残額の14,922,665円（前年度比+1,825,993円）を、翌年度へ繰越ししています。
また、令和5年度決算は令和6年9月の財産区議会で認定されました。

公有財産（令和5年度末）

山林面積	4,403,966 m ²	増減無し
上伊那森林組合出資金	1,192,400 円	〃
積立金	60,000,000 円	〃



7 令和6年度財産区管理費納入状況

区名	世帯数	免除数	確定数	単 価	金 額
車 屋	1 8 3	5	1 7 8	2,500	445,000 円
中 組	1 5 9	3	1 5 6		390,000 円
渡 場	1 6 9	3	1 6 6		415,000 円
木裏原	4 4	0	4 4		110,000 円
中殿島	2 1 2	1	2 1 1		527,500 円
下殿島	2 2 0	1	2 1 9		547,500 円
田 原	1 6 2	1 7	1 4 5		362,500 円
原新田	1 9 3	2	1 9 1		477,500 円
榛 原	5 0	2	4 8		120,000 円
暁 野	1 6 0	1 1	1 4 9		372,500 円
計	1,552	45	1,507		3,767,500 円



8 令和7年度財産区管理費について

財産区有林は、区民の皆様や各区のご尽力によって整備が行き届き、多くの範囲で伐期を迎えます。しかし、木材価格の低迷や林道整備に費用を要するため、主伐の実施判断が難しい状況にあります。

そこで、本年度は財産区有林を木材生産林と保全すべき区域等に区分けするゾーニングと資源量調査を実施し、少しでも計画的な施業を検討して参りたいと考えています。

このため、令和7年度におきましても前年度同様に各戸 2,500 円の管理費の納入をお願い申し上げます。

令和6年度 研修視察報告

令和6年度の研修視察は、4月に定めた第18期運営方針の実施に向けて精密林業計測株式会社、北信州森林組合、平丸ふれあいの森（新潟県）の視察を計画しました。

1 精密林業計測(株)

西箕輪の inadani sees 内にある信州大学発のベンチャー企業である精密林業計測(株)において、ドローンや衛星画像を活用したスマート林業について基礎的な内容をお伺いしました。精密林業計測の持つ特許技術は、森林資源を見える化し、森林の維持管理と具体的な施業計画の策定を省力化するもので、議員一同、興味深く聞き入っていました。



inadani sees での研修

2 北信州森林組合



北信州森林組合での研修

中野市にある北信州森林組合は、ICT を活用し、事業管理システムの構築、境界明確化、航空レーザー測量による地形情報の把握と資源量解析、作業道の簡易設計など、スマート林業の導入に意欲的に取り組まれています。

具体的なお話を伺う中で、東春近財産区が取り組むべき課題と、スマート林業の活用について示唆をいただくことができ、今後に向け数多くの収穫がありました。

3 その他の視察先

樹種転換事業の参考にと、ブナ林で有名な平丸ふれあいの森の視察を計画しましたが、集中豪雨による林道の崩落工事で視察を断念しました。

また、世界ジオパークに認定されている「糸魚川」のフォッサマグナミュージアムを訪れ、フォッサマグナと糸魚川静岡構造線や、ヒスイの秘密についてふれることができました。



フォッサマグナミュージアムにて

